

# 山 林 寶

【本山京都妙心寺派一等地】  
 禪宗 = (臨濟宗) 「りんざいしゅう」

※妙心寺開創六五〇年  
 雪江禪師六〇〇年

三正ていと一て大機そ  
 月定寺〇日～四月三日京都妙心寺に参拝いたしました。六本山に参拝し  
 正初出緒い大機そ  
 定初出緒い大機そ  
 寺かから見る相茶ま列は山  
 〇かから見る相茶ま列は山  
 日も、壯意寺いた。有京様者一  
 ～も、壯意寺いた。有京様者一  
 四月、14名由々山か思山非  
 三日、4名由々山か思山非  
 京の緒々山か思山非  
 都の方あるた金血脈を今一度計画いたしたいと考えています  
 妙々建た宗はまり参りして下さい。  
 心が大物や一、銀道場もい  
 寺に法庭元開寺もい  
 参要に、また銘山本でだ  
 拝に、また銘山本でだ  
 いた、また銘山本でだ  
 した、また銘山本でだ

河野子 逸ソ馬シ守サ夫子人モ弘新喜正  
 河野中手田 繁綾育ト田洗  
 竹御武武広安竹竹久久御竹  
 手乍敬称略



《京都南禅寺名勝の庭にて》

# 四月八日〔釈迦降誕会：花祭り〕

~~~~~  
四月八日は、お釈迦さまのご生誕日。当日は天候に恵まれ朝から、村内の方々が甘茶をいただきにお寺参り致しました。

他壇家の方々も多く拝山なされ、本堂ではお釈迦さまの像に甘茶をかけ手を合わす子供達で賑わいました。

二千五百年まえの四月八日、おしゃか様のお生まれになった時、天に住む龍王がその喜びに涙（甘露）を流しました、その涙が今の甘茶なのです。それ以来、甘茶を飲むと

——無病息災：学業上達：大魔除災：  
無事安産：——によいとされ、各人おもいおもいの容器をもちよりいただいて帰りました。大人は昔の味をなつかしく思い、小供は、初めての味に思いをのこすことでしょう。

来年も是非お参りしてください。

.....



# ◆ 正定寺の歴史 《歴代の和尚》 ◆

## ● 開山 利翁益公禪師 (りおうえっこうぜんじ)

※開山とは、第一世の和尚で寺を開いた人である。

正定寺の開山は、利翁益公禪師(利翁和尚)で、現 徳島県の出身 \* 延徳二年(1490)生まれ \* 大永三年(1523)に三十三才で赤木(中津留)の宝林精舎に招かれました。その宝林精舎が、現在の宝林山正定寺です。利翁和尚は、鎌倉五山建長寺で修業した後、この地に住職として来山、仏法興隆に尽力され、天正七年(1573)十月十六日 八十八才まで五十八年間正定寺に、住持しておりました。それは、鉄砲伝来の二十年前の事、織田信長が入京したのが和尚七十八才の時でした。今でも本堂の右に禪師の像が安置されています。\*\*\*\*\*

## ● 開基 春山源右エ門 (俗に赤木殿と言う)

※開基とは、寺を建てるための経済的な援助を一人でした方を言う赤木の豪族で、仏心厚く今から四百六十三年前の夏、寺を建立して開基となる。春山一族に就いては、幾つか謎が残っている。その一つに、現在春山一族の姓が正定寺壇徒の中に見当たらない。それは、甲斐；武田一族の勢力によって、赤木の谷から他の土地に追い遣られたのではないか、或は、横川の春山姓が開基の子孫ではと、？語る人もいる。何れにせよ本堂の左に安置されている、

[鍾嶽泉公大禪定門] 俗名 源右エ門 歿年 天正七年十月五日の位牌だけが知っている。

## ★なぜなぜ仏教学★

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

塔婆は、なぜ立てるのですか？

▼ 禅宗では、塔婆に戒名を書いてお墓に立てます。塔婆は、卒塔婆（そとうば）が正式の名でインドの言葉のストゥーパ（stupa）に中国人が音を当てたものです。もともとお釈迦様の聖骨（仏舍利）を収めた塔を供養したのが、始まりで

上から ※ 空 風 火 水 地 … 五大 [仏教観での世の中すべて] を表わし、亡くなった方の徳をしめすものです。

京都の五重の塔や直川村に多い五輪の塔なども同じものです。また、死者に供える盛飯（もりめし）も、米を舍利（骨）と称し、箸を一本垂直に立てて塔を意味したものです。だから一般のお墓が縦型なのも分かると思います。▲さて、塔婆の正しい供え方ですが、まず法要を営む家は亡くなった方への追膳供養のため（為〇〇〇〇信士）に施主（戸主）の方が建立します。法要日にあらかじめ、お寺に連絡して、塔婆を書いてもらいお参りして頂きます。家に持ってかえりきれいに荘厳（飾りつけ）された、仏壇の正面よりやや右に置きます。

和尚さんが来て、お経が終わるとお墓にお参りして供えます。それはこの世に住む、我々が亡き方々への供養と供に自らの仏身造立を志す現われです。五大\*世の中全ての人々\*に施すと云うことが、どんなに気持ちがいいことか、たとえ人が見ていなくても供養したあとのすがすがしさは忘れることのできない味わいです。……合掌





金剛鈎女菩薩



金剛手持金剛菩薩

筆筆筆筆監監

役役役会副副会  
会会

頭頭頭頭查查

員員員計長長長

右

正定寺  
總代一覽

神岸尾神橫仁 久向市堂野立中萱羽黒上内細大江椏吹袖竹  
のの 所園留船屋 の の 川 河 のの寺  
原上浦栗川倉 須場敷師内長道垣木岩地水内鶴内原原原下

鳴 吉 染

柳甲長小富桜海松島甲吉星田柳岩矢後矢大泥曾植小小久吉工宮岡竹  
白 井斐田野永井幸田 斐田野喜井崎憲藤野石谷根田野野保 藤 田下  
孝照秀春真敏太昭 健直勝久則徳一辰晴幸新田金宗浩田 正 参  
義光夫雄光彦郎治清平幸人間幸孝郎己雄子一光光仁信新寿幾与一正